

平成 20 年度 地域分権

事業の評価書

秦野地域コミュニティ推進協議会

様式第5号（第7条関係）

H21年5月26日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 正田吉信



記

事業の名称	コミュニティ誌等の発行
事業実施前の状況	・自治会、子ども会などの単位毎の広報活動はあったが、全体的に地域では少ない状況
事業実施後の状況	・市広報誌配布に合わせ20年5月A4二色刷4頁、11月A4多色刷4頁、21年3月A4多色刷4頁を各々5,800枚発行 ・オリジナルクリアファイルを2,000枚作成、資料配布時、ギャラリー展示物の礼状手渡しなどに使用
事業の効果	・事業が具体化したことにより、活動内容の記事に身近で触れることが出来る ・クリアファイルで地域協議会名をアピール出来る
今後の課題等	・各種会合において広報誌の説明を交えての活用機会を増やすこととする

卷一

H21年5月26日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 正田吉信 

記

事業の名称	地域ギャラリーの設置
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none">地域全体として共通の作品などの発表や情報の掲示伝達の場所が不足しているギャラリー設置予定地前の通路は夜間暗かった
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none">子どもから大人までの地域の方の絵画、習字、写真、短歌など色々な作品を2週間毎に入れ替え展示掲示夜間通路が明るくなり、街灯効果も出た
事業の効果	<ul style="list-style-type: none">出展者本人、家族、知人、親戚など沢山の方が見に来られた 通行人も多くの方が興味深く見ているライトアップ照明により夜間の歩行が安全になった
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">まだギャラリーの存在を知らない人も多く、秦小の掲示板と誤解されている方もおられる広報活動に力を入れ地域の認知度を上げ、出展作品を増やして行きたい

様式第5号（第7条関係）

平成11年5月26日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名 正田吉信 

記

事業の名称	交通安全看板等設置
事業実施前の状況	・坂や小道が多く通学路に危険な箇所、標示看板が少なく安全に対する感覚が乏しい
事業実施後の状況	・旭丘、畠地区に設置したが歩行者だけでなく自転車バイク自動車に対しても看板の注意で安全意識を高められるようになった
事業の効果	・子供達の目がストップシールに行くようになった ・電柱看板については追加設置希望が多い
今後の課題等	・電柱看板などの盗難問題の善処解決したい（その防止策として看板のネームに警察・市を入れる） ・学校などのPTA保護者と一緒に設置出来るようになればよい ・自転車に対しての注意看板をもっと考えたい

秉一

様式第5号（第7条関係）

H21年5月26日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 秦野地域コミュニティ推進協議会

代表者名

正田吉信



記

事業の名称	街路灯の照度アップ
事業実施前の状況	・秦野校区内では老朽化による交換を要する照明、照度アップした方が良い場所散見
事業実施後の状況	・旭丘1・2丁目、渋谷1丁目の一部を対象地域とし、適切な照度調整を図った
事業の効果	・夜間暗く歩きづらい場所も、明るくなった事により安心感が生まれた ・夜間において標識、看板がよくみえるようになった
今後の課題等	・この照度アップは、すべてを交換するのでなく場所に応じて実施し、その地域の方々の意見が大切です、街路灯説明会への多数の参加を呼びかけている

秦一久